

所沢税務署長賞

税に関心をもって

所沢市立柳瀬中学校三年

木村 竜 左

「これが全部でかかった金額だよ。」

「え！ たったこれだけ？」

「まあ、なんてありがたいの。」

祖父、そして父と母の三人が驚きながら会話をしていたのを今でも覚えている。

昨年元日、祖母が急にお腹が痛いと言いだした。すぐに両親は祖母を病院に連れて行き、診察してもらった。

ところが、医師に、急いで大きい病院に行った方が良いと言われた。紹介状を持って大きい病院に行くと、色々な検査をした。

検査をして、病気が見付かった。

祖母は、一ヶ月入院して、大きな手術もした、手術には何十万という大変なお金がかかる、さらに、CT、造影剤を使ったMRI、レントゲンなど、沢山の検査をした。

ものすごい医療費を支払わなくてはならないのに、たった一割しか負担しなくていい医療制度というのがあるそうだ。その制度により、かかる医療費は税金で負担してくれる。

僕は、医療制度や税金の事をよく知らない。税金で聞いたことがあるのは消費税くらい。

でも、家の中でこんな話を耳にする。父は毎月頂いている、給料明細を見ながら言う。

「今月は、所得税が、これだけ引かれた。」
母は、

「今月は固定資産税の引落しだわ。」

「もうすぐ自動車税の請求が来るわね。」 と言い、

祖父は

「介護保険、後期高齢者健康保険料を忘れないうちに支払わないと。」 と言っていた。

これらの話を聞いて僕は、税とは全て支払うものとしか思っていなかったが、そうではなかった。

祖母は今、とても元気だ。

もし、祖母が手術をしていなかったら、手遅れになっていたかもしれないそうだ。

元気に生きていられるのも税のおかげだ。

僕は、税は人の命を救うこともできる、大切なものだということが分かった。

僕も、よくケガで病院に行く。もし税がなければ、ばく大な医療費を支払わなくてはならない。

税のおかげで、ためらう事なく病院に行き、ケガを治す事ができる。改めて税はありがたいと思った。

これからは、病院に行った時は、医療費がいくら位かかったのかと、見たりし、少しずつでも税に関心がもてる様になろうと思った。